



SSKW すてっぷ だより

編集 社会福祉法人すてっぷ すてっぷ後援会
〒379-2164 群馬県前橋市東上野町136番地1
TEL 027-290-6161 FAX 027-290-6162 <https://s-step.com> contact@s-step.com

No.80



とよ
うえ

あけましておめでとうございます。

昨年も新型コロナウイルスの感染拡大がなかなか落ち着かず、年末には県内でも感染者が再拡大しましたが皆様お変わりなくお過ごしでしょうか。後援会としてもイベントの開催目途が立たない状況にあった為、「すてっぷ後援会」の今後の在り方について役員の皆様と話し合いを行いました。

すてっぷも法人化され20年以上経過し、後援会発足当初の役割が変わって来ていることを改めて確認しました。福祉サービスも措置から契約の時代へと変わったように後援会について

も、今後は利用しているご家族を中心となり、家族会として「すてっぷ」を支えていくのが良いのではないかと意見が出ました。

昨年11月に行われた「家族交流会」では、すぐにではありませんが移行期間を経て後援会から家族会に移行をしていく事や会長、副会長をいずれ家族会の中から選出していく事について、ご理解を頂きました。もちろん、ご家族以外の皆様の応援も必要ですので、新しい時代に合った後援会の形を探っていきたいと思います。

今年度も会員の皆様にご協力頂きながら、少しでも会員の方を増やす事で「すてっぷ」を支えて行きたいと思っておりますので宜しくお願ひ致します。

末筆ながら、昨年は通信の発行ができずに終わってしまったことお詫び申しあげます。

すてっぷ後援会会長 清宮 聖子



新年あけましておめでとうございます。

『コロナ禍』と言われて3年。社会を動かす様々な仕事が在宅ワークやDXといった新しいシステムに変化してきました。そんな中で『エッセンシャルワーカー』と位置付けられる私達の仕事は、どんなに新型コロナ感染拡大があったとしても止めるわけにはいきません。職員自身の健康も守りながら、サービスを必要としてくれている人たちも守りながらの毎日を後援会の皆様の応援に勇気づけられながら続けています。いつも応援ありがとうございます。

昨年は侵略戦争という信じられないことが起こり、真っ先に命の危機に直面するのは、やはり、こどもや高齢者、障害者でした。福祉サービスを仕事としている私達にも衝撃が走りました。福祉が正しく社会で機能するためには『平和』でなければならない、と痛感します。世界が、日本が「戦争」という最も愚かな行動に向かって行かないように、世界に平和が戻ることを願って新年のご挨拶とさせていただきます。

本年もどうぞよろしくお願ひいたします。

社会福祉法人すてっぷ

理事長 坂柳 幸子

第1回家族交流会開催!!

コロナ禍で後援会としての活動ができない中、まずは事業所毎に定期的に家族が集まり顔を合わせて、何かあった時に気軽に連絡できる関係性を作る事を目的に「第1回家族交流会」を11月に開催致しました。

<各事業所から出た意見について一部ご紹介>

Kid's Club/Little Kid's Club

「子育ての先輩から経験談を聞くことができて参考になった」
「普段は他のお母さん達と話す機会もないし、顔と名前も知らなかつたので、連絡先を交換し、LINEグループも作れて良かった」



れいんぼうかんぱに

「今は福祉サービスが色々あるが、良く知らない人もいるから
交流会があることで必要な情報を聞くことができる」
「親が高齢になっているので、親なきあと（安心ノート、後見人）
について情報交換したい」



わーくはうすすてっぷ

「子供をグループホームに入れるきっかけや、グループホームに入った事で家族も自分の時間を楽しむ事ができるようになった等の話が参考になった」
「10年利用しているが顔も知らないご家族もいるので交流の機会があり良かった」

社会就労センターぴいす

「子供がまだ若いのでどのタイミングでグループホームに入れたら良いか等、他の人の話を聞いて、自分も子供の将来について考えるきっかけとなった」
「自分だけだと必要な情報が入ってこないのでこうした交流の場があると良い」

とうっぽ

「親が高齢化しているのでグループホームを検討しなければと思うが、子供と離れて暮らすとの寂しさを考え躊躇してしまう」
「昔は1人でスーパー或コンビニに買い物に行けたが、最近はセルフレジなどに変わり、機械の操作がわからなくなってしまった。他のご家族にどうしているのか聞いてみたい」

初対面の人もいる中、時間が経過するにつれて色々な意見交換がされていました。どの事業所からも「話し合いの場が今までなかったのでまた作って欲しい」とご意見があり、お仕事等の都合で参加できなかった方も多くいらっしゃるので、今後も継続して開催していきたいと思います。

すてっぷ後援会会長 清宮聖子

各事業所 2022年度トピックス

2022年もいろいろなことがありました。それぞれの事業所から活動の一部をご報告します。

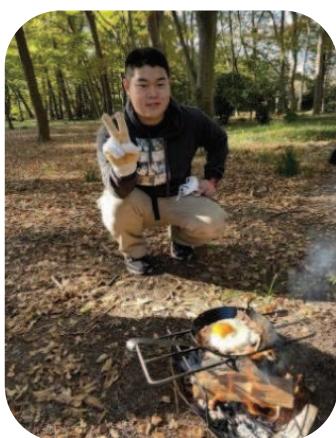
すべてのホームページにも写真つきで紹介されているものもありますので、どうぞご覧ください。

すべてのホームページ <https://s-step.com/>

●社会就労センターぴいす

with コロナの中、良く働き、良く遊んでいます。

IT導入補助金2022を利用して県立女子大の購買ではセミセルフレジ2台を導入しました。現金の受け渡しがなくなってCovid-19感染リスクも減り、レジ打ち、精算等のオペレーションもとても簡単になりました。学生からも「コンビニみたい！」と好評です。遊びの方はフィッシングやキャンプ等、アウトドアへ出かけました。自然の中で伸びのびと過ごす事が出来、心身ともにリフレッシュする事ができました。



厚労省が行った「障害者就労における地域の産業と福祉の連携推進事業」の中の「地域の課題を福祉の力で解決する」部門で学生食堂の運営業者を確保する事が難しい県立女子大学（事業規模や長期休暇がある事で採算が取れない）の学生食堂をぴいすでは購買、清掃を合わせて行う事で収益をあげて運営できている事が好事例として紹介されました。一般的の業者ではよくて2年、時には年度途中で撤退する事もあった学生食堂運営をぴいすでは2005年から今年で17年続けて行っています。学食のランチや購買で販売するパンは学生や教職員から大好評です。

社会就労センターぴいす 新井 亘

●とらっぱ

2022年のとらっぱは外出の行動範囲を広げ、各行事を満喫することができましたので、報告します。

7月16日(土)に暑気払いで高山村の「ロックハート城」観光に行ってきました！

今回のメインイベントはプレスレットづくり、プリンセス&プリンス体験でした。

プレスレット体験では皆さん思い思いの色を選んで石を器用に並べて作っていました！

プリンセス&プリンス体験ではたくさんの色や種類があり選ぶのに悩み、ドレスに着替

えるのが大変でしたが皆さん本物のプリンセス&プリンスのようでした！

楽しい思い出と共に暑い夏を乗り切りました！

10月8日(土)には日帰り旅行でみんな一緒に埼玉県飯能市の「ムーミンバレーパーク」に行ってきました。皆さんの日頃の行いの良さと、とらっぱ自慢の晴れ男、晴れ女パワーのおかげで、予報の雨マークも消え、爽やかな秋晴れの中、北欧の雰囲気を味わえました。アトラクション、買い物、ビュッフェと満喫してきました。

楽しくて思わず手を繋いで散策する方もいるなど、仕事の時とは違う姿が見られ、笑顔いっぱいの1日でした。



とらっぱ 赤見 正子

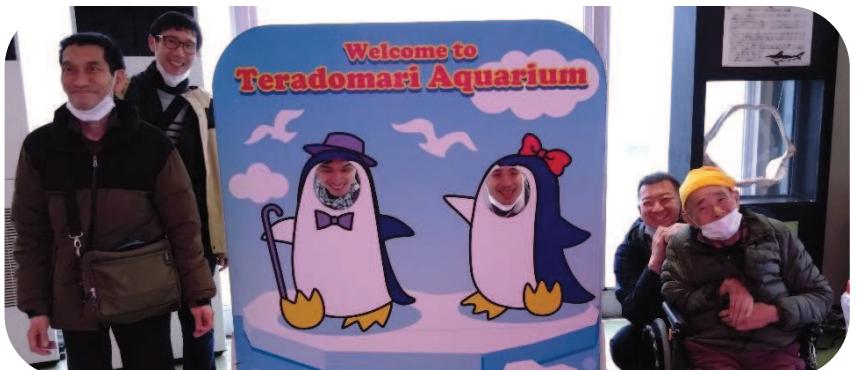
●わーくはうすすてっぷ

3年半ぶりにようやく一泊旅行が実現！企画段階からアンケートで希望を聞き、「一泊で温泉に行きたい」と希望した方々が7名。話し合いを重ねて行先やそこで食べるものや買いたいものを自分達で悩んで選びました。

3名は伊香保温泉へ、4名は新潟寺泊へ。

新潟では有名なへぎ蕎麦を食べたり、カニなどの豪華な海の幸いっぱいの夕食を楽しむことができました。

写真は水族館での一枚です。
パネルの笑顔にもご注目！(^~)



こちらは『ぐんまマラソン』。希望された5名が参加し、1名は10kmを完走しました。各自自分の目標タイムを決めて挑戦したり、ひさしぶりにワクワク・ドキドキ。走った後は皆さん満足そうでした。10kmに参加した方はとても走るのが早いのでスタッフでは伴走できず、元駅伝部のボランティアさんが伴走。見事な走りでした！

わーくはうすすてっぷ 阿部 明美

●れいんぼうかんぱに

4月に新利用者さん2名を迎えるました。野菜づくりではそれぞれが育てたい野菜に挑戦し、収穫後アウトドアランチで美味しいいただきました。グループ旅行は久しぶりに県外まで足をのばし、埼玉のムーミンバレーと茨城の大洗に行きました。

2ヶ月に一度の『給料 de Enjoy Day』では前橋で話題のカフェを廻り、仕事後の遊びも楽しみました。



さつまいもご飯と具だくさん鍋。種から育てた野菜の味は格別です。

給料 de Enjoy Day。
おしゃれなカフェの窓辺で。
フフ。



ムーミンバレーのアンブレラ小径で。

8月末のコロナ第7波では、スタッフ2名、利用者8名が集団感染し、これまでにない苦しい経験をしましたが、すてっぷの仲間や皆さまからの力強いサポートもいただき、活動を再開しました。

れいんぼうかんぱに 根岸 由記

●Kid's Club

Kid's Club の ♣ Marry Christmas ♣

子ども達はクリスマスが大好き！！

Kid's Club ではランプシェイドを作成しました。

和紙を使って一人一人和紙染めをし、糊で風船に貼り付け、貼った和紙が乾いたら中の風船を割るという手の込んだ製作です。皆、和紙染めがどんな色に染まるのかワクワクしながら染めました。

和紙の貼り付けはワイワイガヤガヤみんなでおしゃべりをしながら作っていました。クリスマスまで夕方から子供達が帰る時間まで風がない日に点灯。子ども達はサンタクロースがこの光を見つけて来てくれることをお祈りしながら楽しみに待っていました。



Kid's Club 長井 俊介

●Little Kid's Club

おやつを買いに行こう！



先日、年長さんから「皆でおやつを買いに行きたい」と言われました。子ども達の「やってみたい」に応えるのが Little 流。次の週、お財布に 200 円を入れて持たせてもらいました。年長さん同士で相談。「ベイシアにしよう！」「いいね！」「ベイシア連れてって！」子ども達が自由に自分たちの気持ちを伝えてくれるのでスタッフは「ヘルプが出るまで絶対に声掛けはしないでいよう」と約束しました。

1 人 1 個カゴを持ち速足でお菓子コーナーへ行き欲しい物をカゴに入れます。買えるのかな？と思うとスタッフに相談してくれます。金額オーバーしていることが分かると欲しかったものを棚に戻します。

スタッフに教えてもらいながら 200 円内で選べました。レジもちゃんと並び、お財布から一生懸命お金をして、おつりとレシートもお財布に入れて。ママのお買い物の様子をいつも見ていたのですね(*^_^*)買い物が終わった子ども達は公園に行き自分で買ったおやつを友達と楽しそうに見せあいっこしながら食べました(*^_^*)

子ども達は大好きなお友達と一緒に考えて自分達で決めてやってみるから楽しいのですね。大人に助けて欲しい時はちゃんと教えてくれます。子ども達が自由な気持ちでいられる大人でありたいと思わせてくれた一日でした。春が来たら卒園。頼らしい一年生になってくれることでしょう。



Little Kid's Club 服部 厚子

●ケアホームRUN

2022年のトピックは、やはり「コロナ感染クラスター、療養生活」です。世間で言われているように容易ではなく壮絶な体験もありました。広がっていく恐怖、拡大が止まつた時の安堵。療養を見守った利用者さんの一つひとつの病状で一喜一憂。そして職員の体調確認、このままなんとかしおぎ切りたいとの願い。ご本人たち、ご家族、全職員で心配し、不安になり、いろんなことを考えた日々であったと思います。

各ホームは構造の違いがあるものの、全て玄関とお風呂は1か所です。トイレはホーム毎に2カ所あります、個室内には水道もありませんので必ず共用スペースを通ったり、使ったりします。一生懸命研修して学んだゾーニングや感染予防の知識もいざ実際に感染者が出てみると実行が難しいことも多く、感染してもすぐに入院とはならない現実も知ることになりました。

また、新型コロナウイルス以外でも利用者さん達の身体の変化・病気
これから的生活や支援をどうしていくべきかを問い合わせられた年でも
ありました。

これからもみんなが大きな病気やけがをすることなく、できれば楽しみや
幸せを感じる瞬間が多くあるといいな、いつものあたりまえの年相応の毎日
を過ごせるといいなと願っています。

最後に長年後援会活動に尽力いただき、わくわくホーム建設の際には大変お世話になった中津山さんのお父様が昨年末急逝されました、感謝とともにご冥福をお祈りしたいと思います。



ケアホームRUN 上村 佳子

●ワークセンターまえばし



那須どうぶつ王国にて。
みんなご機嫌(^^)

ワークセンターでは個性豊かな職員6名で障害者の「働く」「楽しむ」を支援しております。

昨年は就労支援に加えて、余暇支援となる週末活動を再開させることができました。

10月の那須どうぶつ王国では障害者雇用として働いている23名の皆さんとバス旅行を楽しみました。雄大な那須高原を眺めながらの昼食は普段とは一味違う、美味しさを満喫することができました。

今年もワークセンター職員がチーム一丸となり全力で、「働く」「楽しむ」を支援させていただきます！！



ワークセンターまえばし 服部 一浩

●前橋市障害者生活支援センター

前橋市障害者生活支援センターでは現在4名のスタッフで相談支援を提供しています。今年度の特徴として、発達障害があって社会参加が難しい方や未就学児の福祉サービス利用についての相談が多く、まだまだ支援を必要としている方がいるという現実を実感しています。

6月には新たなスタッフが加入し、研修を受け11月から相談支援専門員として業務にあたっています。まだ慣れないことも多いですが、周りのスタッフがサポートすることで相談支援専門員としての経験を積んでいます。

また今年度、新たに緊急時に備えて前橋市地域生活支援拠点「安心ネットまえばし」に2名の方が登録されました。コロナ禍で体験利用などが難しい状況ではありますが、今後も地域で暮らす障害者とご家族の万一に備え、地域全体で支えていけるよう関係機関の皆さんと協力していきたいと思います。

今後も「計画作成」はもちろん、来談者さん一人一人の人生が生き生きと輝けるように支援していきたいと思います。



前橋市障害者生活支援センター 斎藤陽一

新入職員紹介

2022年度4月～12月にかけて、すてっぷに心強い新入職員が入りましたので紹介します。
すてっぷの仲間として、それぞれ配属された場所で活躍しています。これからも新しい力となることを期待しています。



れいんぼうかんばに
金子 江梨花
4月入職



わーくはうすすてっぷ
中西 優花
4月入職



Little Kid's Club
町田 瞳
4月入職



サンサンすてっぷ
金澤 賢治
5月入職



前橋市障害者生活支援センター
小菅 ゆみ
6月入職



Kid's Club
櫻井 理瀬
7月入職



わーくはうすすてっぷ ヘルパーステーションすてっぷ
小板橋 勝
10月入職



瀧澤 萌
12月入職

後援会費納入ありがとうございます

赤井眞佐子様 阿部郁代様 新井豊子様 芦田朱乃様 石倉利治様 石橋英子様 糸井徹様 入間川典子様
大崎健樹様 大谷久子様 岡田登美江様 奥泉雅夫様 小澤恵子様 小野木敏晴様 小野口房子様 恩田光子様
加藤さゆり様 金井克之様 金子登様 上林久美子様 唐沢圭子様 河合俊一様 河内那保子様 神澤智恵子様
桐生瓦斯株式会社様 小玉智子様 児玉峰子様 小山陽二様 今野光雄様・みや子様 斎喜広栄様 斎藤寛様
坂柳健司様 櫻井俊輔様 佐藤正弘様 佐藤佐智子様 品川弘江様 島田良子様 清水澄治様・幸恵様
白石春枝様 城田佳子様 (株)シバインシュアランス様 鈴木潔様 鈴木ウメ子様 関健鑑様 善方明子様
高木伸之様 高橋寿夫様 高橋秀夫様 高橋サワ子様 高柳勝巳様 宝田好夫様 竹内淳一様 竹内厚仁様
竹内和子様 田子シゲ子様 田中幸雄様 田中克己様 田中学様 刺使川原惠子様 戸所清様 中川葉子様
中澤康子様 中島初江様 中嶋新吉様 中津山達也様 中村佐由利様 中山さち江様 中山康江様
萩原尚樹様 萩原侑利様 長谷川恒子様 平井恵治様 平岩康子様 廣瀬明美様 福島忠雄様 福原悦朗様
帆足沙織様 前川宏様 松房衣子様 松本直樹様 丸山良雄様・千恵子様 (有)丸又様 峯岸千鶴子様
宮内勝美様 茂木幸子様 茂木勝美様 本山朱実様 森川三恵子様 森田房江様 山岸雅彦様 山口喜良様
山田文雄様 横澤正樹様

ありがとうございます

【補助金】

社会福祉法人清水基金様
2,500,000円

【義捐金】

株式会社太陽誘電様
224,216円

ご寄付ありがとうございます

【寄付金】

鈴木基司様、柴崎妙子様、新井明日香様、すてっぷ後援会

【物品寄付】

群馬県こんにゃく組合様、斎藤 寛様、女屋きみ江様、
大嶋秋夫様、日本精工福祉基金前橋支部様、一般社団法人日本レコード協会様、前橋市社会福祉協議会ボランティアセンター様、前橋青果商組連合会・前橋青果株式会社様、上毛印刷株式会社様、社会福祉法人フランシスコの町あかつきの村様

☆2022年度後援会費の納入方法☆

後援会費 個人会員 3,000円～ (1口3,000円以上)
団体会員 10,000円～ (1口10,000円以上)

上記の会費を直接後援会事務局(法人本部)へお持ちいただき、同封の振込用紙にて
お振込みください。

口座番号 00120-4-192242

加入者名 「すてっぷ後援会」

*発送作業簡素化のため、郵便振替用紙は全員の方に同封しています。すでにご入金の方はご了承ください。

*原則として、郵便局で受け取る振込金受領票の写しをもって領収書にかえさせていただきます。

特に領収書が必要な方、及び「匿名希望」の方はその旨を通信欄にその都度お書きくださいよう、よろしく
お願いいいたします。

-----すてっぷへの寄附は控除対象です-----

社会福祉法人すてっぷは、租税特別措置法における要件を満たしていますので寄附金額は税金の控除対象と
なります。寄附の際には寄附申込書の記入をいただき、控除対象寄附金受領証明書を発行しています。